



ほけんだより



令和7年 2月20日 開南幼稚園 NO.4

3月3日は耳の日です。子どもは耳の構造上、中耳炎を引き起こしやすかったり、難聴を発見しにくかったりします。早く対応できるよう耳の病気や聞こえの異常のサインを知っておきましょう。

《耳の病気とは?》

子どもが風邪をひいて鼻水が出ているのを放っておくと鼻水の中にウィルスや細菌が繁殖し、耳管を通して中耳に侵入して中耳炎を起こすことがあります。中耳の中で炎症が起こると、うみがたまり熱を出すことや鼓膜を圧迫するため強い痛みが起こります。また、鼓膜が破れて耳垂れが出ることもあります。

○しんしゅつせい滲出性中耳炎…急性中耳炎が治りきらないと、中耳にサラサラとした液がたまります。

痛みや発熱などの症状がないため、発見が遅れることがあります。

○おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)…原因となるウイルスが内耳に感染して、難聴を起こします。

流行性耳下腺炎の予防接種を受けて、感染を防ぐことが重要です。

※聞こえの異常は、言葉の育ちにも影響します。子どもは「聞こえにくい」ことに気づきにくく、正確に言えません。聞こえにくいサインを知って、早めに気づくことが大事です。

子どもの聞こえチェック

※このような症状が見られたら耳鼻咽喉科で相談しましょう。

- テレビの音が大きい。
- 後ろから呼んでも振り向かず、反応がない。
- いつも鼻が詰まっていて、口で呼吸している。

『耳掃除』うまくできていますか?

耳あかを取ろうとして、かえって耳の皮膚を傷つけることもあるので、耳の穴の入り口に近いところにある大きな耳あかを取り除くだけで大丈夫です。

また、耳掃除は気をつけていても耳の後ろや耳のみぞは見落としがち。お風呂で洗う習慣をつけましょう。

.....【学校薬剤師 鈴木明美先生より】.....

耳の外耳道には会話や食事で顎を動かすと耳奥から入り口へと表皮が移動し、耳垢を自然に排出する自浄作用があります。

耳かきのし過ぎに注意し、耳の入り口近くの耳垢だけを取るようにしましょう。